

国会に実れ 山形の美味

サクランボ 県関係議員が授粉



国会議事堂の前庭に山形の木として植栽されているサクランボの花が咲き、県関係国会議員が15日、恒例の授粉作業を行った。

衆参双方の前庭に「佐藤錦」「紅秀峰」「紅さやか」の3品種計4本の木があり、白い花がちょうど満開となっ

サクランボの授粉作業を行う県関係国会議員

―東京・国会議事堂前庭

た。遠藤利明、近藤洋介、鈴木憲和、阿部寿一の各衆院議員、岸宏一、大沼瑞穂の両参院議員が参加。ミツバチが飛び交う中、毛ばたきを使用し、県園芸試験場が冷凍保存した「ナポレオン」の花粉を丁寧にかけて回った。

集まった国会議員の前に同事務所の丹野和彦所長は「県産サクランボは2012年度、過去最高の298億円の産出額があった。国会議員の皆さんの力を借りて、ぜひ300億円を達成したい」と強調した。

前庭のサクランボは5月上旬に結実、6月になると可食期を迎え、国会議員と国会見学者らの目を楽しませる。